

Labo News

らぼニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
住所 名古屋市中村区名駅5-16-17
花車ビル南館 〒450-0002
電話 052-581-1013
FAX 052-586-5680
ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店
普通口座731-677
発行人 梶山広美
編集人 山田 真

No.423 目次

- ◆平成29年度愛知県臨床検査精度管理調査
概要(案内).....(2)
- ◆フレッシュセミナー 2017に参加して.....(3)
- ◆生殖医学検査研究班講演会を開催して.....(4)
- ◆第35回愛臨技
東三河地区研究会開催のご案内.....(5)
- ◆第62回愛知県糖尿病療養指導研究会
学術講演会.....(5)
- ◆講演会・研究会.....(6)
- ◆AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会
通信(第49回).....(8)

平成29年度愛臨技学術部門の活動について

学術部門担当副会長 所 嘉朗

法人設立30周年を迎えた愛臨技では、日臨技中部圏支部医学検査学会(第56回)と全国「検査と健康展」という大きな事業が控えております。中部圏支部医学検査学会は4月のらぼニュースおよび愛臨技ホームページでのご案内のとおり、本年9月30日(土)と10月1日(日)の両日に名古屋国際会議場で開催する予定です。また、全国「検査と健康展」は11月11日(土)にナディアパークにて開催いたします。現在、組織部中心に準備を進めていますが、学術部としてこの事業を成功させるよう頑張っております。

学術部門の今年度の活動についてご案内いたします。学術部の研究班の具体的な活動としては、研究会、講演会、基礎講座合わせて44回を予定しており、4月より既に研究会は開催されております。らぼニュースまたはホームページを参照ください。学術部企画としては、5月28日(日)に名古屋大学医学部基礎医学研究棟第4講義室で新人サポート研修会を、平成30年1月28日(日)には名古屋大学医学部基礎医学研究棟第4講義室で救急検査をテーマにスキルアップ研修会の開催を予定しております。

精度管理事業部については、4月より企画会議を開催して年間スケジュール等を検討しております。今年度も日臨技のシステム(JAMTQC)を利用して実施します。8月27日(日)に試料の発送をしますので、翌日の28日(月)午前中には各施設に到着すると思います。速やかな測定をお願いいたします。結果検討会は11月9日(木)、その後総括集編纂、報告会と講演会を3月17日(土)に開催する予定でスケジュールを立てております。また、今年度は日臨技の精度管理事業のサポート事業について精度管理事業部で協議してまいります。

標準化事業については、各部門で培った業績を形にするために臨床検査の現場で必要とされているリーフレット等の発行を中心にAiCCLSに積極的に協力します。

学術部門の組織強化を図り活動を活性化することにより、臨床検査および臨床検査技師の質の向上を推進し、今後来る医療環境の変化に対応できるよう、学術部門として頑張っていきます。会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

平成 29 年度 愛知県臨床検査精度管理調査概要（案内）

精度管理事業部長 佐野 俊一

平成29年度の愛知県臨床検査精度管理調査の実施内容について概要をお知らせいたします。

本精度管理調査は愛知県臨床検査標準化協議会（AiCCLS）や各地区の基幹施設で構成された基幹施設小委員会と連携をとりながら、施設間を正を目的として活動しています。精度管理調査の結果から各施設の問題点を改善し、臨床へ高品質な検査結果の供給を果たすことで、愛知県民の健康に寄与することを目標としています。

さて、本精度管理調査の申込みと回答入力、日本臨床衛生検査技師会（以下 日臨技）臨床検査精度管理調査のシステムを利用したWebからとなっています（標本等、回答の一部は郵送の場合があります）。Webからの申込みと回答入力が必要な場合は、この調査に参加できませんのでご了承ください。また、本精度管理調査のWebサイトに入るための「施設番号」・「パスワード」は日臨技精度管理調査に参加する時と同じものを使用します。「施設番号」・「パスワード」をお持ちでない場合は、事前に日臨技に発行申請する必要がありますので、日臨技HPの「臨床検査精度管理調査」から施設申請・パスワード発行申請をしてください。

見積書・請求書・領収書・参加証書・報告書・評価一覧は日臨技HPの「臨床検査精度管理調査」からダウンロードできます。また、参加費入金先は、愛知県臨床検査技師会の口座のみとなっておりますのでご了承くださいますようお願いいたします。

詳細は、後日郵送される「愛知県臨床検査精度管理調査実施要領」をご覧ください。また、6月下旬には当会ホームページ（<http://www.aichi-amt.or.jp/>）にも掲載します。

以下に本年度の精度管理調査の主な予定を示します。

1. 募集案内：6月中旬から下旬に郵送
2. 申込み開始：6月13日（火）午前9時
Web申込み開始
3. 申込み締切：7月28日（金）午後6時
Web申込み画面閉鎖

※試料の用意数に達した場合は、申込み受付を終了します。

※申込み受付終了後の内容の変更、キャンセルは一切受け付けできませんのでご注意ください。

※本精度管理調査に関するお知らせ・手引書などの修正等のお知らせは、申込者へメールで配信いたします。申込みの際は必ずメールアドレスを入力してください。なお申込者はメール配信の有無にご注意くださいますようお願いいたします。

4. 調査内容：微生物、血液、臨床化学、免疫血清、病理、細胞、生理、一般、輸血
※参加費、調査内容は後日郵送する愛知県臨床検査精度管理調査実施要領をご覧ください。
5. 試料発送：8月28日（月）
冷蔵宅配便で各施設へ配達
※安定性の短い試料も含まれていますので、事前に測定準備をして頂くことをお勧めします。
6. 回答締切：9月11日（月）午後11時
Web回答画面閉鎖
※結果入力画面閉鎖後の入力内容の変更、削除、新規入力等は一切お受けできませんのでご注意ください。
7. 速報値Web掲載：9月下旬
8. 報告書Web掲載：10月下旬
9. 結果検討会：11月9日（木）
ウインクあいち（名古屋市中村区）
10. 総括集発行：平成30年3月
11. 総括的報告会：平成30年3月中旬

結果検討会は、精度管理調査での問題点を解決するだけでなく、日頃困っていることを直接相談できる絶好の機会です。評価の良否に関係なく悩んでいることがあれば気軽に参加していただきたいと思えます。

是非、愛知県臨床検査精度管理調査にご参加くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

愛知医科大学病院 中央臨床検査部
佐野 俊一

E-Mail：syun@aichi-med-u.ac.jp

フレッシュセミナー 2017に参加して ～新人職員の心身のケア～

宏潤会大同病院 小林 采乃

平成29年4月23日(日)に名古屋で開催されたフレッシュセミナー2017に参加させていただきました。今回は、私達、新人職員の心身のケアを目的とした初めての企画でした。はじめに技師会役員の方から臨床検査技師会及び連盟の役割についての説明後、日本彩食心美協会の森志保氏、フィットネスインストラクターの草野茂氏から精神的、身体的な面においてこれから医療者として働くにあたり大切にすべきことを教えていただきました。

精神的な面では日々の生活に彩り、食事、プラスの心持ち、美しさを心掛け、まず私達が充実した生活を送ることで患者さんへの良い接遇にも繋がると学びました。私はまだ新人として入ったばかりで慣れないことも多いですが、心に少しでも余裕を持てるようにしていきたいと思います。

身体的な面ではフィットネスを実際に行い体を動かすことでリフレッシュすることができました。最初は皆手探り状態でしたが、最後には一緒になって汗を流すことができ、これから場所は違っても同じ職種で共に働く仲間たちと絆を深めることができました。

最後に軽食、デザートを食べながら意見交換会を行いました。同世代や先輩方と情報交換ができ、とても有意義な時間を過ごせました。



生殖医学検査研究班 講演会を開催して

夫婦円満セミナー「夫婦を救う言葉を知っていますか？」

小牧市民病院 藤田 京子

今回の講演会では、夫婦カウンセラーというあまりなじみのない業種の講師をお招きし、夫婦の関係について、患者と医療従事者との関係についてご講演いただきました。

講師がカウンセリングにおいて注意していることは、クライアントを突き放してしまわない事です。過去に「夫婦の再生は困難」と告げてしまったことによりクライアントの心を折ってしまった経験があり、この経験からわずかでも望みがあればまずは「大丈夫」と勇気づけることを心掛けておられます。クライアントはカウンセラーを頼ってきており、「大丈夫」という言葉がこの先の一步に繋がるのです。同様に、医療の場面では患者は医療者を頼って来院されています。特に不妊治療においては、治療期間の長期化、低い成功率など、ストレスの原因ばかりです。しかし、医療の場面では安易に「大丈夫」という言葉は使えません。ではどのように患者を励ま

せば良いのでしょうか。「お困りごとはありませんか」。この一言で、医療従事者として患者に寄り添う事ができるのではないのでしょうか。「我々はあなたに関心を持っていますよ」と意思表示する、たったそれだけのことで患者を助けることができ、「患者を救う言葉」になるのです。

今回は医療従事者ではない講師による講演会であり、通常の講演会としては珍しいことであったと思います。参加者からは「相手の気持ちを考える良いきっかけになった」「あまり他人に関心を持たず接していたのではないかと反省させられた」「職場の人間関係にも応用できると思った」「通常の勉強会とは違い、普段聞くことのない話が聞けてよかった」などのご意見を頂戴しました。理事会のご理解により公開講座としていただき、生殖班の行事としては多くの方に参加していただけたことに感謝いたします。



第35回愛臨技東三河地区研究会開催のご案内

愛臨技東三河地区研究会を下記の要領で開催いたします。ぜひ多数の方々に参加していただきたく、ご案内申し上げます。

専門教科：20点

開催日時：平成29年7月2日(日) 12時50分から17時

会場：田原文化会館(田原市) 文化ホール

所在地：田原市田原町汐見5番地

(三河田原駅徒歩10分)

電話番号：0531-22-6061

内容：一般演題9題

公開講演

“いつまでも元気に暮らそう”

～ぎんさんの娘さん、三浦雄一郎さんから学んだ元気ヒミツ～

講師：名古屋学芸大学大学院

下方 浩史 教授

参加費：研究会 1,500円(抄録代含む)

懇親会 5,000円

懇親会：華山会館(田原市) 17時15分より

会長：厚生連渥美病院 臨床検査技術科

出口 恵三

事務局：厚生連渥美病院 臨床検査技術科

真木 義友

〒441-3415 田原市神戸町赤石1番地1

TEL 0531-22-2131

FAX 0531-22-0284

Email: maki@hp.atsumi.jaaikosei.or.jp

《愛臨技生涯教育認定登録団体研究会のご案内》

第62回 愛知県糖尿病療養指導研究会 学術講演会

テーマ：糖尿病透析予防指導における各職種役割

日時：平成29年7月23日(日) 13:00～16:20

場所：名古屋大学医学部附属病院

地下1階会議室

一般講演(13:05～15:05)

糖尿病透析予防指導の各職種の役割

司会：東海記念病院 管理栄養士 藍川 智津

・薬剤師の立場から

JCHO徳山中央病院 副薬剤部長 益成 宏

・看護師の立場から

野村医院 認定看護師 川畑 愛子

・管理栄養士の立場から

大垣市民病院 管理栄養士 岩崎 文江

・臨床検査技師の立場から

岡崎市民病院 臨床検査技師 夏目久美子

特別講演(15:20～16:20)

司会：碧南市民病院 認定看護師 岡田 照代

糖尿病透析予防指導について

講師：海南病院 糖尿病・内分泌内科代表部長

山守 越子

★本講演会は、「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として第1群1単位、第2群1単位が認定予定です。どちらかを選択してください。

【参加費】 愛知県糖尿病療養指導研究会会員無料、その他参加者1,000円



講演会

遺伝子染色体検査研究班

専門教科：20点

日時：平成29年7月8日(土) 15:00～17:00

場所：名古屋第二赤十字病院1病棟10階

加藤化学記念カンファレンスホール

テーマ：「リキッドバイオプシーによる遺伝子検査」

講師：

1. 「血漿を用いた遺伝子検査 コバスEGFR v2.0」
ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

武重 香澄

2. 「リキッドバイオプシーによるクリニカルシーケンス」

近畿大学医学部ゲノム生物学教室 坂井 和子

3. 「BEAMing法を中心としたLiquid Biopsyの最新知見、および、臨床検査への展望」

シスメックス株式会社 好岡美津子

司会：JA愛知厚生連江南厚生病院

和田 美歩

内容：分子標的薬の登場により、その効果予測検査として腫瘍細胞の遺伝子変異検査の重要性が高まっています。従来は生検検体などがその検査対象でしたが、患者さんへの侵襲が少ない血液などの体液検体を用いて遺伝子検査を行う、いわゆるリキッドバイオプシーという手法が注目され、実際臨床検査としての応用も始まっています。そこで実際にこの手法を用いて研究をされている先生と開発企業の方をお招きし、リキッドバイオプシーの現状から将来展望について講演していただきます。

研究会

生物化学分析検査研究班

専門教科：20点

日時：平成29年7月1日(土) 15:00～17:00

場所：リップルスクエア

名古屋市東区東桜1-1-10アーバンネット

名古屋ビル20F

テーマ：肝疾患バイオマーカーの活用

講師：

1. 肝機能に関わる検査データの読み方

豊橋市民病院

森下 拓磨

2. 肝線維化マーカー M2BPGiの有用性

名古屋大学医学部附属病院

有馬 武史

3. “肝疾患病態指標糖鎖バイオマーカー M2BPGi”の開発

シスメックス株式会社タンパク技術グループ

中林 一樹

4. 肝線維化マーカー M2BPGiの最新の話と今後の可能性について

シスメックス株式会社学術サポート課

松木 信行

司会：名古屋掖済会病院

岡本 明紘

名古屋第一赤十字病院

服部 拓哉

内容：肝臓に関わる基本データの読み方・考え方と、肝線維化における新規バイオマーカー“M2BPGi”の開発から今後の展開までを解説していただきます。

研究会

微生物検査研究班

専門教科：20点

日時：平成29年7月1日(土) 15:30～18:00

場所：名古屋市立大学病院

医学研究科医学部研究棟

11階講義室A

テーマ：皆で考える耐性菌検査

～今日からわかる！できる！～

講演1：基本に立ち返る！

初心者のための耐性菌講座

小牧市民病院

西尾美津留

講演2：皆はどうやっているの？

耐性菌検出と報告の実際

足助病院

古井 清

豊田厚生病院

永田 悠起

講演3：こんな時どうしよう？

耐性菌ケースカンファレンス

江南厚生病院

河内 誠

司会：刈谷豊田総合病院

蔵前 仁

名古屋第一赤十字病院

美濃島 慎

内容：講演1では、グラム陰性桿菌の耐性菌について、改めて基礎から学びます。

講演2では、規模の違う施設における耐性菌の検出方法と、臨床への報告の実際

をお話します。
講演3では、実際に症例を見ながら、耐性菌検出のフローと臨床への報告について皆でディスカッションします。耐性菌についてお困りの方、自施設の耐性菌検出方法を見直したい方など、多数のご参加をお待ちしております。

池崎 幸司
永井 君子
平田 弘美
司 会：①豊川市民病院
②特定医療法人衆済会 増子記念病院

参加費：500円
食 事：各自でお願いします。(持参推奨)
内 容：新人サポート研修会の尿定性に続く尿検査シリーズの第2弾、「尿沈渣検査法2010」に沿って写真や症例を交えて、尿沈渣の見方のポイントを分かりやすく解説します。初心者からベテランの方、日当直のみで関わる方など多数の方の参加をお待ちしております。

研究会

生殖医学検査研究班

専門教科：20点
日 時：平成29年7月1日(土) 15:30～17:00
場 所：藤田保健衛生大学 坂文種報徳會病院
西棟5階 第1会議室
テ ー マ：胚の凍結
講 師：豊橋市民病院 鈴木 範子
オリジオ・ジャパン株式会社 千葉 誠
司 会：竹内産婦人科 榊原 重久

研究会

一般検査研究班

専門教科：20点
日 時：平成29年7月9日(日) 10:00～16:30
場 所：名古屋市立大学医学部本部棟4Fホール
名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
地下鉄桜通線 桜山駅3番出口よりすぐ
テ ー マ：「初心者歓迎!! 日当直に役立つ尿沈渣の基礎」
1) 尿検査の基礎 公立西知多総合病院 服部 聡
2) 赤血球・白血球の見方 藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 進藤龍太郎
3) 上皮細胞の見方 JA愛知厚生連 稲沢厚生病院 蜂須賀大輔
4) 円柱の見方 JA愛知厚生連 江南厚生病院 伊藤 康生
5) 結晶その他の見方 国家公務員共済組合連合会 名城病院

研究会

生理検査研究班

専門教科：20点
日 時：平成29年7月15日(土) 15:00～17:00
場 所：名古屋市立大学 医学研究科
医学部研究棟11階講義室B
テ ー マ：超音波の基礎
講 師：東芝メディカルシステムズ 濱滝 寿伸 (はまたき としのぶ)
司 会：津島市民病院 山梶 恵美
内 容：現在の医学では『超音波』を利用した診断と治療は欠かせないものになっています。また、装置の進歩も目覚ましく、超音波の特性などを知ることによって診断技術の向上にもなります。今回は、超音波の基礎について超音波診断装置を扱うメーカーの方にご講演いただきます。超音波検査士の受験を目指している方も、既に取得されている方も理解を深めることが出来ると思います。多数の参加をお待ちしています。

2017年5月10日現在 正会員数 3,195名

AiCCLS

愛知県臨床検査標準化協議会

通信
(第49回)

愛知県臨床検査標準化協議会 (Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization : AiCCLS) は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今回は、新しく発行された刊行物のうち、「PAM染色」についてご紹介いたします。

これまで発行された愛知県臨床検査標準化協議会推奨方法には、PAS染色、EVG染色、アルシアン青染色など5つの推奨方法があり、PAM染色は6つ目の推奨方法となります。良好な標本を作製するための推奨染色法や試薬、染色のコツがまとめられていますので、是非ご活用ください。

詳しい内容、購入方法については、公益社団法人 愛知県臨床検査技師会HPの臨床検査標準化情報をご覧ください。

(AiCCLS : 愛知県臨床検査標準化協議会)

愛知県臨床検査標準化協議会推奨方法 (6) PAM 染色

PAM (Periodic Acid-Methenamine Silver Stain) 染色は、特に腎系球体の基底膜染色として活用され、腎生検には必須の染色である。糸球体の基底膜を詳細に観察するには、2ミクロン前後の極めて薄い切片作製が必要であり、高度な薄切技術が要求される。

推奨染色法

1. 脱パラフィン・水洗
2. 蒸留水
3. 1%過ヨウ素酸水溶液 10分
4. 流水水洗 5分
5. 蒸留水 3回
6. 0.5%チオセミカルバジド 5分 注1)
7. 流水水洗 5分 注2)
8. 蒸留水 3回
9. メセナミン銀液 65°C 30分~ 注3)
10. 蒸留水洗 3回
11. 0.2%塩化金 5分
12. 蒸留水洗 3回
13. 2%チオ硫酸ナトリウム 2分
14. 流水水洗 5分
15. HE染色 注4)
16. 脱水・透徹・封入

染色液および試薬の調製

【1%過ヨウ素酸水溶液】

- ・過ヨウ素酸 1g
- ・蒸留水 100 mL

【メセナミン銀液】(使用時調整)※

- ・3%メセナミン水溶液 25 mL
- ・5%硝酸銀水溶液 2.5 mL
- ・蒸留水 20 mL
- ・5%ホウ砂水溶液 2.5 mL
- ・1%ゼラチン水溶液 0.5 mL 注5)

※3%メセナミン銀液に5%硝酸銀水溶液を添加(添加直後の液は白濁するが、混合すると透明になる)。次に蒸留水と5%ホウ砂水溶液を加え混合する。最後に1%ゼラチン水溶液を加え使用液とする。調整された混合液は無色透明である。

【0.5%チオセミカルバジド】

- ・チオセミカルバジド 0.5g
- ・蒸留水 100 mL

【0.2%塩化金水溶液】

- ・塩化金 0.2g
- ・蒸留水 100 mL

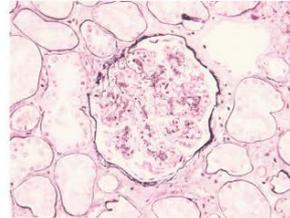
【2%チオ硫酸ナトリウム水溶液】

- ・チオ硫酸ナトリウム 2g
- ・蒸留水 100 mL

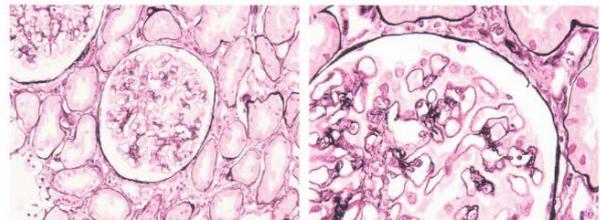
Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization

染色結果

腎系球体基底膜、メサンギウム細胞、基質、尿管基底膜、PAS陽性物質：黒色



左上：腎臓 対物×40
左下：膜性腎症 対物×40
右下：膜性腎症 対物×100



注1) 本処理により銀の選択性が高まり染色時間を短縮できる。

注2) 水洗が短いと基底膜に結晶が沈着するので十分に水洗する。

注3) メセナミン銀液は使用する20~30分前に濃めておく。切片を入れてからおよそ20分後に切片を取り出し、切片に付着した気泡を取ることで染色ムラを防止する。毛細血管基底膜が黒褐色に、近位尿管内腔の刷子縁が褐色に染まった時点まで反応の終点とする。

注4) PAM染色用の切片は薄く、また銀染色によりヘマトキシリンおよびエオジンの色素がのりにくくなっているので、通常のHE染色より染色時間を長めにする。

注5) ゼラチンには、銀イオン同士の間にゼラチン蛋白が入り込むことにより、一度に多くの銀イオンが連鎖反動的に還元されて起こる非特異的染色を抑制する効果、またスライドガラス上への銀粒子の沈着を抑制する効果がある。

参考文献

- 1) 関東化学株式会社：PAM染色法、渡辺の銀染色、Trouble shooting シリーズNo.4, 2, 関東化学株式会社, 東京, 2003
- 2) 平澤浩：(社)岐阜県臨床検査技師会研修会：腎生検に必要な特殊染色
- 3) (社)愛知県臨床検査技師会：平成23年度基礎講座「腎臓の病理細胞診検査」テキスト

【発行者】 愛知県臨床検査標準化協議会 (AiCCLS) 病理検査部門
【問い合わせ先】 〒450-0002 名古屋市中村区名駅五丁目16番17号 花里ビル南館1階
公益社団法人 愛知県臨床検査技師会事務内 愛知県臨床検査標準化協議会事務局
Tel 052-581-1013 Fax 052-586-5680 2014.10.Ver.1